

特別活動（ホームルーム活動）学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 1 年〇組教室 指導者 T 1 〇〇 〇〇
T 2 〇〇 〇〇

1 単元名 進路について考えよう ―「将来こう在りたい自分」の姿をイメージしよう―

2 考察

(1) 生徒の実態及び指導方針

本クラスは、生徒 6 名で編成されている。軽度の知的障害に加え、注意欠陥多動症や自閉スペクトラム症の傾向のある生徒がいる。そのため、音声言語だけでなくスライド資料等を用いた視覚的指示も併せながら、それぞれの生徒に対して個別に支援をしていく必要がある。

生徒たちは高等部に入学し、将来の自分の生活や仕事のことについて考え始めたばかりで、日々の学校生活や作業学習、就労支援員の話聞くこと等を通して、社会人としての心構えをこれから身に付けようとしている段階である。将来の自分の姿を具体的に思い描き、その実現に向けて今何をするべきか、ということ考えた経験はまだ少ない。そうした経験を積み重ね、自分の今後の生活に見通しをもつことは、本クラスの生徒たちにとって大きな課題となっている。

本題材に関わる生徒の個別の実態は以下の通りである。（省略）

<指導方針>

- ・活動内容が理解しやすくなるように、スライド資料を活用して生徒に合わせて視覚支援を行う。なお、赤緑色覚異常のある生徒が視覚からの情報を得やすくなるように、色使いやコントラスト等に配慮する。
- ・将来の自己実現への意欲を高めたり、自己肯定感を得たりできるように、それぞれの生徒のできたことや頑張ったことを自己実現に向けてのスモールステップの積み重ねと捉え、「〇〇までできましたね」、「□□だったので△△ができましたね」等と、生徒が自分なりに頑張った姿を具体的に称賛する。
- ・間違いを恐れず、落ち着いた気持ちで前向きに活動に取り組めるように、「間違っても大丈夫ですよ」「よくできていますよ」等と、本人の頑張りを尊重した受容的な言葉掛けをする。
- ・活動に集中できるように、必要のない物は片付ける等、教室の環境を整理する。

3 研究との関わり

知的障害特別支援学校高等部において、「将来こう在りたい自分」と「今の自分」をつなげるためのキャリア教育の実現を目指して、自己実現に向けた「自分らしさ発見シート」の中でキャリア発達上の課題を「見える化」し、生徒が学習への納得感と見通しを獲得できるようにする。そのことによって、「今の自分」をよりよくしようという意欲をもって生徒が学習に取り組めるようにすることの有効性を明らかにしたいと考えた。そこで、特別活動（ホームルーム活動）の「進路について考えよう」という単元において、「自分らしさ発見シート」を作成する前の段階として、「将来こう在りたい自分」の姿を具体化し、「今の自分」との姿との相違に気付くことが重要と考えた。また、「将来こう在りたい自分」を生徒がイメージしやすくするため、将来がいつの時点を指すのかということを具体的に「社会人 1 日目」と示した。「社会人 1 日目」の自分がどのような自分になっていたかという思いを具体化し、友達からのアドバイスを受けてこれから頑張りたいことを考える場面を設定することで、生徒が「自分らしさ発見シート」を作成しやすくなったか検証する。

4 本時の展開

(1) ねらい

<全体>

- ・「将来こう在りたい自分」の姿を具体化し、その実現のためにこれから頑張りたいと思うことを自分なりの表現でワークシートに記入する。

【将来の自己と学びを結び付けるために必要な知識・技能】

- ・自己実現に向けてクラスの友達と互いにアドバイスをし合うことを通して、「将来こう在りたい自分」と「今の自分」との相違に気付く。

【主体的に自分らしさを発見し、将来に生かそうとする態度】

<全体のねらいを達成するための個別のねらい（自立活動の指導との関連より）>

- A ・自分から進んで活動に取り組む。
- B ・自分が話す場面と相手の話を聞く場面の切り替えを意識して活動に取り組む。
- C ・自信をもって自分の考えを相手に伝える。
- D ・必要に応じて自分から相談や質問をし、ワークシートに記入する。
- E ・ワークシートに記入した内容を、相手に伝わる大きさの声で発表する。
- F ・その場に相応しい言葉遣いで、友達にアドバイスをする。

(2) 準備 ワークシート I、スライド資料

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	・指導上の留意点及び支援 ☆自立活動の指導と関わる支援 (◎研究の検証に関わる支援 ◇研究の検証に関わる評価基準)
1 本時のめあてをつかむ。 【めあて】 「社会人1日目にどんな自分になって いたいかな考えよう」	1 分	☆本時のめあての内容が分かるように、めあてを示した部分に注目するよう促す。(全員)
2 ワークシートの記入の方法の説明 を聞く。	5 分	・ワークシートに記入する内容が分かりやすくなるように、スライド資料を用いて記入の方法や記入例を示す。
3 ワークシートの「社会人1日目の 自分はこんな自分になっていたい！」 の部分に記入する。 <予想される生徒の反応> 「まだ先のことからイメージがつかないな」 「将来どんな仕事をしているのだろう」 「卒業式の翌日から社会人になるのか」 等	10 分	◎「将来こう在りたい自分」の姿を実感を伴って具体化しやすくなるように、「社会人1日目」が卒業式の翌日であることを伝える。 ☆落ち着いた気持ちで安心して記入できるように、書く内容に間違いというのはないということ、まずは自分なりの表現で書いてみるのが大切ということを伝える。(全員) ☆集中して活動に取り組めるように、よい姿勢を保持して、丁寧な字でワークシートに記入するよう伝える。(B) ◎将来についてイメージが湧かない生徒には、「実習の時にもっとこうした方がよいと言われませんでしたか？」等と、これまでの生活や学習の経験を振り返って考えられるような言葉掛けをする。 ◇社会人1日目にどのような自分になっていたいかな、

<p>4 記入した内容をクラスで発表する。 <予想される生徒の反応> 「〇〇さんは将来△△になりたいのか」 等</p>	<p>5 分</p>	<p>自分なりの表現でワークシートに記入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友達の考えが分かりやすくなるように、発表した内容を板書して残していく。【T2】 <p>☆発表をする時と聞く時の相応しい態度が視覚的に分かりやすくなるように、「発表をするときの注意点」のスライドを示して、声の大きさや姿勢について説明する。(全員)</p> <p>☆記入した内容を自信をもって発表できるように、声の大きさや発表の態度等、よかった所を具体的に挙げて称賛する。(C、E)</p>
<p>5 友達の発表を聞いて、一人一人への自己実現に向けた「一言アドバイス」を考え、ワークシートに記入する。 <予想される生徒の反応> 「〇〇さんはこうするともっとよいかもしれないな」 「自分は以前にこんなことをアドバイスされたことがあるな」 「〇〇だから「ダメ」という言葉は使わない方がよいのだな」等</p>	<p>15 分</p>	<p>◎アドバイスを悩んでいる姿が見られたら、「自分がこれまで受けてきたアドバイスを思い出して参考にしてみましょう」と、これまでの生活や学習の経験を振り返って考えられるような言葉掛けをする。</p> <p>◎前向きなアドバイスとなるように、「〇〇するともっといいよ、等の言葉を使いましょう」と言葉を掛け、ワークシートの中のアドバイスを考える時の注意点に留意するよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単なる指摘にならないように、「一言アドバイスのルール」のスライドを示し、アドバイスには「ダメ」という言葉を使わないで考えるよう伝える。また、なぜ「ダメ」という言葉を使わない方がよいのか、生徒に考えてみるよう促す。
<p>6 クラスの友達から「一言アドバイス」を受ける時間を順番に一人ずつ設け、それぞれの生徒が将来の自己実現のためにこれからどのようなことをすればよいか、皆で話し合う。 <予想される生徒の反応> 「うまく発表できるだろうか」 「〇〇さんの一言アドバイスが参考になったな」 「友達にうまく伝えるのは難しいな」 「アドバイスをする時は、相手の気持ちになって伝えることが大事なのだな」 等</p>	<p>7 分</p>	<p>◎クラスの友達からの「一言アドバイス」の内容が分かりやすくなるように、アドバイスの内容を板書して残していく。【T2】</p> <p>☆自分が話す時間と相手の話を聞く時間を切り替えることを意識できるように、自分の話したいことに集中している様子が見られたら「相手の話を最後まで聞いてから話しましょう」と言葉を掛ける。(B)</p> <p>☆話し合うのに相応しい言葉遣いが分かるように、よい例と悪い例をロールプレイで示したり、友達の発表の仕方を参考にするよう伝えたりする。(F)</p> <p>☆どのくらいの声の大きさと発表すればよいか分かるように、発表する声の大きさの手本を示したり、友達の発表の様子を参考にするよう伝えたりする。(E)</p> <p>☆どの部分を発表すればよいか分かるように、読む部分を指差しや言葉で示す。(D)</p> <p>◎発表を通して自己肯定感が高められるように、自</p>

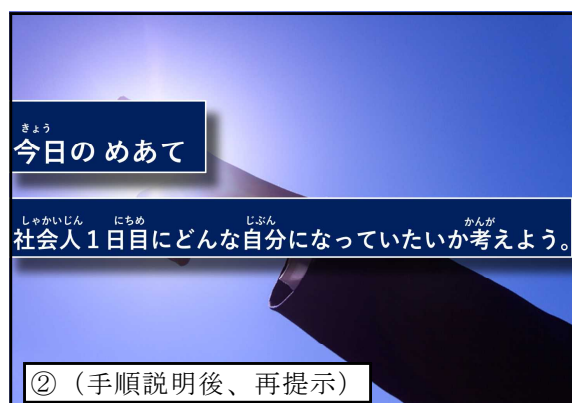
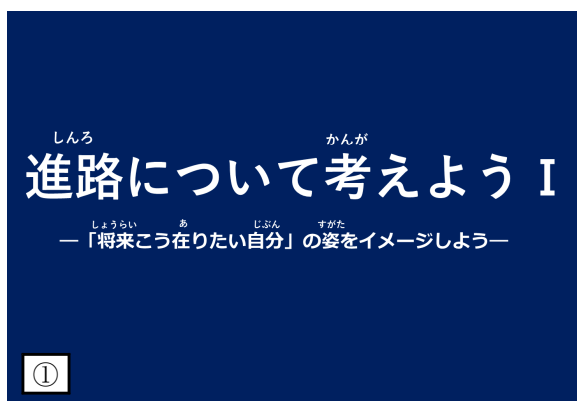
		分なりに考えて発表できたことをその都度称賛する。
<p>7 クラスの友達からの「一言アドバイス」を受けて、自分がこれから頑張ろうと思ったことをワークシートに記入する。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <p>「自分はこんなことを頑張ろう」</p> <p>「今の自分が頑張らなければいけないのは○○だな」 等</p>	5分	<p>◎「将来こう在りたい自分」と「今の自分」との相違に気付けるように、「今の自分にとってこれからやらなければいけないことは何か、考えてみましょう」等と言葉を掛ける。</p> <p>◇ワークシートの記述の中に、友達からのアドバイスの内容が反映されている。</p>
<p>8 まとめの話を聞いて授業の内容を振り返り、次回の授業への見通しをもつ。</p>	2分	<p>・次回の授業へ見通しがもてるように、「自分らしさ発見シート」をスライドで簡単に紹介する。</p>

(4) 板書計画

生徒がワークシートに記入した内容を模造紙等 に書き写して提示する。		

※生徒の座席順と対応させて、T 2 が模造紙等を黒板に貼っていく。

(5) スライド資料



③に今の自分の考えを書きましょう。

みんなが皆が書けたら一人ずつはっぴよう発表しましょう。

「道徳について考えよう1」

年 組 氏名

②「社会人1日目の自分はこんな自分になっていたたい！」

健康な自分になっていたたい。

③友達への「一言アドバイス」を考えよう。

()さんへ

()さんへ

()さんへ

()さんへ

()さんへ

③「一言アドバイス」を書いてこれから練習しよう！と誓ったことを書こう。

③

「道徳について考えよう1」

年 組 氏名

②「社会人1日目の自分はこんな自分になっていたたい！」

健康な自分になっていたたい。

③友達への「一言アドバイス」を考えよう。

()さんへ 困った周りの人に相談するといひよ！

()さんへ

()さんへ

()さんへ

()さんへ

③「一言アドバイス」を書いてこれから練習しよう！と誓ったことを書こう。

④

⑤

さんこう参考

「道徳について考えよう1」

年 組 氏名

②「社会人1日目の自分はこんな自分になっていたたい！」

健康な自分になっていたたい。

③友達への「一言アドバイス」を考えよう。

()さんへ 困った周りの人に相談するといひよ！

()さんへ

()さんへ

()さんへ

()さんへ

③「一言アドバイス」を書いてこれから練習しよう！と誓ったことを書こう。

運動をする。

⑤

「社会人1日目の自分はこんな自分になっていたたい！」

例)「〇〇で動いていたい」

理由：ものを作るのが好きだから。

「周りの人と上手にコミュニケーションがとれるようになっていたい」

理由：困ったときに助けて欲しいから。

「健康にすごしていきたい」

理由：病気になると大変だから。

⑥

⑦

「道徳について考えよう1」

年 組 氏名

②「社会人1日目の自分はこんな自分になっていたたい！」

健康な自分になっていたたい。

③友達への「一言アドバイス」を考えよう。

()さんへ 困った周りの人に相談するといひよ！

()さんへ

()さんへ

()さんへ

()さんへ

③「一言アドバイス」を書いてこれから練習しよう！と誓ったことを書こう。

運動をする。

⑦

※発表するときの注意点

①声の大きさ

②聞く姿勢・態度

⑧

※「一言アドバイス」のポイント

●「自分だったらどうするか？」

自分に置きかえて考える。

●「自分はいつもどうしているか？」

自分の経験から考える。

⑨

※「一言アドバイス」のルール

NGワード

「ダメ」

⑩